



宮司プレス 八十四号

彦島八幡宮 宮司 ニュース

発行者 彦島八幡宮

宮司 柴田 宜夫

発行 平成二十五年五月三十一日

◇宮司の柴田です。宮司に就任して、一年の歳月が流れた平成十八年六月より、毎月発行を続けている「彦島八幡宮 宮司ニュース」が、今月号で八十四号、七年継続して発行したこととなりました。まさに、七周年記念号、アニバサリーであります。しかしながら、今年になって、発行日が、大幅に遅れ、月末になってしまおうという事態（じたい）が、茶飯事（さはんじ）となりました。とうとう五か月も続いて、発行日のワースト記録を更新中であります。「継続は力なり」と申しますが、よくぞここまで続いたものだと思ながら、感心しています。◇毎回、何を題材にしようかと思索をめぐらしますが、いわゆる「話のネタ」に苦労をし、その事が、発行を大幅に遅らす大きな要因でもあるのです。ちなみに、「ネタ」とは、種（たね）を逆さ読みした隠語（いんご）と読みます、特定の仲間だけに通用する特別の語（ことば）です。題材を仕入れるために、新聞や月刊誌、小冊子等を切り抜きスクラップしている「ネタ帳」なるファイリング

資料、さらには、蔵書（ぞうしょ）等を駆使し、日常の何気ない会話や出来事にもアンテナを張りめぐらしているわけです。実は、この宮司プレスの内容を講演や講話に組み立てますと、おおよそ十五分くらいの話になり、ふくらみをつけますと二十分の話を構成できます。平成十九年から、山口県神社庁（やまぐちけんじんじやちよう）教化講師会（きようかこうし）の講演講師（こうえんこうし）を仰せつかり、本年四月からは、教化講師会の副会長の役をお引き受けしています。したがって、この宮司プレスの発行編集は、講演講師としての私にとりまして、必要不可欠で義務ともいえるべき、「話のネタ作り」になっているわけです。◇平成二十一年よりは、ホームページにもアップデート（最新情報をホームページに更新）することです。を開始しまして、富山県にすんでいる大学の同級生、三年間も同じ寮生活を共にした親友からも、「読んでいます、楽しみにしているよ」と声をかけられたりします。もう、やめられなくなりました。

「社報 産土（うぶすな）」第四十五号も七月一日発行予定で、原稿の締め切りが来月五日ということで、巻頭言（かんとうげん）、さらには、宮司プレスの上半期分を一挙掲載します。宮司プレスの来月号である第八十五号一気で作成しなければなりません。前号に記載しましたが、怯懦（きようだ）を退（しりぞ）ける勇氣、安易（あんい）を振り捨てる冒険心（ぼうけんしん）を奮（ふる）い起（おこ）して取り組みたいと思います。

◇国学者の本居宣長（もとおり のりなが）は、「玉鉾百選首（たまほこひやくしゆ）」という歌集に、

「たなつもの 百（もも）の木草も天照す 日の大神の恵みえてこそ」

「朝よひに 物食うごとに 豊宇氣の

神の恵みを思へ世の人

「天地（あめつち）の 神のめぐみ なかり

せば 一日一夜も 有りえてまじや」

という歌を残しています。「い

ろいろな木草、食べ物も天照大神の恵みがあるから実るのだ」「朝夕に食事のたびに 豊受大神のかみの恵みを世の人は考えなさい」「天地の神の恵みがなければ一日だつて生きていけません」とよんでいるのです。天照大神は太陽神で、伊勢神宮の内宮さんにお祭りされていますが、太陽のめ

ぐみがなければ、稲をはじめとした穀物やあらゆる生物は育ちませんよね。豊受大神様は、お食事をつかさどる神様で伊勢神宮の外宮にお祭りされています。朝夕の食事の時に神の恩恵を感じなさいといっています。そうした食事があつてこそ人間は一日一日を生きながらえるのです。

◇我々人間は、ほかの生物の命、生き方を奪つですね、自分の命をつないでいるということとを今一度、深く考えなくてはならないという気がします。私は、八年前の六月に先代である父を見送り、翌月に第二十代の宮司に就任致しました。さらに、七月には、一年をかさねて五十一歳を迎えます。本居宣長さんの「本居」は、「もとほる」という意味で、「二元に帰る」ということです。元の建物のように大修復を行われたのが、出雲大社の「大遷宮」で、全てお建てかえをして元に戻すのも、十月に行われる神宮の式年遷宮です。天地の神々なかりせば、今、この時を生かされていないのであります。これからも、この「二元の心」を忘れずに御奉仕申し上げます。

◇「鬼の霍乱（おにのかくらん）」という言葉がありますが、霍乱とは、日射病や暑気あたりのことですが、極めて健康な人が珍しく病気になることです。これから、きつと、

地球温暖化の影響で、酷暑が訪れましょう。健康な人でも熱中症にかかるというのが、この「鬼の霍乱」ということわざです。お体大切にお過ごしください。

橘曙覧（たちばなのあけみ）は、

「たのしみは 家内五人 五たりが

風だにひかで ありあへるとき」

と「独楽吟（どくらくぎん）」という歌集によんでいます。梅雨入りしましたし、天候不順な日々ですので、御家族ともども、「風だにひかで」、お健やかに過ごしてください。

◇五月の祭典行事報告

▼月次祭 *五月一日、十五日

▼塩釜神社例祭 *五月五日

▼福浦金刀比羅宮例祭

◆前夜祭 *五月十八日

◆本殿祭御神幸祭 *五月十九日

▼朝粥会 *四月二十一日

▼山口県神社庁下関支部第六十二回神宮式年遷宮お白石持奉献団が奉仕完遂祈願祭のため参拝 *五月二十六日

▼西山小二年生、町探検 *五月三十一日

◇五月の宮司の行事会議等活動報告

▼八幡宮関係団体

◇早起会会計監査、役員会 *五月四日

◇奉賛会会計監査、役員会 *五月十日

◇奉賛会行事委員会夏越祭屋形補修作業

*五月二十日、二十三日

▼山口県神社庁、同下関支部関係

◇中国地区社頭講話研修会

*五月七日～八日

◇神道政治連盟役員会、参議院議員ありむら治子国政報告会参加 *五月十三日

◇神社庁役員会 *五月十六日

◇山口県八幡宮会役員会、記念事業実行委員会

*五月十六日（部会）、五月二十八日

◇お白石持行事奉献団説明会*五月二十六日

◇コミュニケーション関係

▼西山小運営協議会 *五月十六日

◇玄洋中運営協議会 *五月二十七日

◇西山小歓送迎会 *五月三十一日

▼人権擁護委員活動

◇て心配ごと相談の人権相談に従事 *五十五日

▼迫町自治会

◇役員会 *五月十五日

▼教誨（きょうかい）活動

↓ 美祢社会復帰促進センター

◇集合教誨（女子） *五月十三日

◇集合教誨（男子） *五月二十七日

▼西ロータリークラブ

◇例会 *五月二十二日、二十九日

▼社会福祉法人しおかぜの里保育園

▽監査会 *五月十四日

▽役員会 *五月三十日